

ルワンダ共和国話題集

【国名】

- 遅くとも 14 世紀から 1962 年まで存続したルワンダ王国に由来。

【国旗】

- 2001 年、ジェノサイド以前から使用されてきた旧国旗が変更され、現在の国旗が制定された。

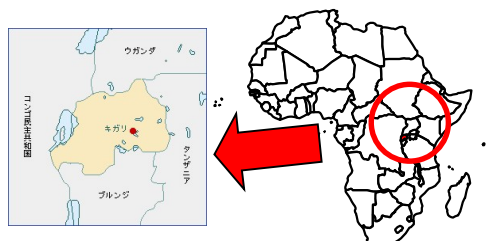


ルワンダ国旗

- 青色は青空と希望を、黄色は平和と協調を、緑色は豊かな農業と繁栄を象徴し、右上に輝く太陽は、国民の団結と未来への明るい展望を表している。
- 民族間の抗争がなくなるよう、流血を連想させる赤を使わなかったと言われる（旧国旗では、赤、黄、緑の三色が使用されていた）。

【国土と人口】

- 面積は四国の約 1.5 倍（約 2.63 万km²）。首都はキガリ。



- 人口は約 1,457 万人（国連世界人口推計（2025 年））。人口密度が日本よりも高く、アフリカではモーリシャスに次いで 2 番目に高い。国民の年齢中央値は 19.9 歳（2025 年）。

【「千の丘の国」】

- ルワンダは、丘の多い地形から、「千の丘の国」（The Land of Thousand Hills）と呼ばれる。国内に 4 つの国立公園があり、ルワンダ政府は、生態系の保護を通じてエコツーリズムにも力を入れている。



- 首都キガリは、海拔 1,500m の高地にあるため、年間を通じて快適な気候である。

【マウンテンゴリラ】

- ルワンダは、貴重なマウンテンゴリラの生息地として有名であり、ルワンダの最高紙幣である5,000ルワンダ・フランには、マウンテンゴリラが描かれている。
- 北西部にあるヴォルカノ国立公園のマウンテンゴリラツアーは、参加料1500米ドルであり、周辺には富裕層観光客向けロッジが点在。



(ルワンダ、ウガンダ、コンゴ(民) 合計800頭が生息するのみのマウンテンゴリラ)

【観光促進とスポーツ】

- 内陸国のルワンダは観光促進に力を入れており、また国際会議やスポーツ国際試合の誘致が活発。首都キガリでは近年、国際会議場や大型スタジアム、国際的なホテルチェーンの開設が相次いでいる。
- 2018年、ルワンダ政府はアーセナル（英国のプロサッカークラブチーム）とスポンサー契約を結び、ユニフォームに「Visit Rwanda」のロゴを入れたことが話題となった（契約は2026年に終了）。その後ルワンダ政府は、欧州のサッカークラブチーム（パリサンジェルマン（仏）、バイエルン・ミュンヘン（独）、アトレティコマドリード（スペイン）、アストン・ヴィラ（英））や、米国のプロバスケットボールチーム（LAクリッパーズ）及びプロフットボールチーム（LAラムズ）のスポンサーにもなり、スポーツを通じた観光促進に注力している。

- 2025 年 9 月には世界自転車競技選手権（UCI）が首都キガリで開催された。

【1994 年 ルワンダ・ジェノサイド】

- 植民地時代に形作られた民族対立による内戦の勃発後、1994 年 4 月 7 日、ジェノサイドが発生し、7 月までの約 100 日間に 80 万人とも言われる市民が虐殺された。
- 日本は、その後ザイール（現コンゴ（民））東部に流入した約 200 万人とも言われるルワンダ人難民を救援するため、同年 9 月から 12 月まで、自衛隊約 400 名を、コンゴ（民）東部のゴマに派遣した（当時国連難民高等弁務官を務めていた故緒方貞子氏はルワンダ難民救援に尽力）。
- ルワンダは、ジェノサイドの後、国民融和の取組を進めており、その一環として出身民族を示す身分証明証を廃止している。

- 特に凄惨な虐殺が発生したニヤマタ、ムランビ、ギソジ（キガリ）及びビセセロの4カ所では、その教訓と犠牲者への追悼を後世に引き継ぐための記念館ができています。これら4つの記念館は、2023年にユネスコ世界文化遺産に登録された。
- 2003年国連総会決議により、4月7日は1994年のルワンダにおけるジェノサイドを考える国際デーとして指定された。ルワンダ国内では毎年4月7日からの100日間をKwibuka（キニャルワンダ語で「記憶する」の意）と呼ばれる追悼期間とし、全国で追悼式典が行われる。

【ウムガンダ】

- 18～65 歳の全国民は毎月最終土曜日の 8 時～11 時、可能な限り、地域社会のための奉仕活動に従事することが法律により義務づけられており、Umuganda（キニャルワンダ語で「共通の目的の下で協力し合う」の意）と呼ばれる。これは住民参加型の復興と共通の国民的アイデンティティの醸成に向けた取組の一環とされる。

【経済】

- ルワンダは、ジェノサイド以降、急速な発展を遂げてきており、過去 10 年間の経済成長率年平均は 6.8%で、「アフリカの奇跡」とも呼ばれている。



(自然と高層ビルが見られるキガリ市内)

- アフリカでの金融ハブを目指し、キガリ国際金融センター（Kigali International Financial Centre:KIFC）を2020年に設立。ルワンダ並びにアフリカ全土への投資を促進。
- 米のシリコンバレーをモデルに、テック企業やスタートアップ企業、大学や開発研究機関のハブを目指す「Kigali Innovation City」を建設中（2024年9月起工式）。
- キガリ市北部に、高度医療病院、臨床検査センター、医療系大学・研究機関、医薬品企業を集約した医療都市を築く計画が進行中。

【ICT 立国】

- ルワンダ政府は、ICT 立国による国造りを進めている。アフリカの ICT 拠点となることを目指し、同分野での投資を急速に拡大。国内における 4G LTE インターネットの普及率向上、2025 年 6 月には MTN ルワンダが 5G サービスを開始したことなどが近年の顕著な動き。
- ルワンダはアフリカにおける AI 研究のハブを目指しており、2023 年 4 月にアフリカ諸国で初めて国家 AI 戦略を策定。2025 年 4 月に「アフリカに関するグローバル AI サミット (Global AI Summit on Africa)」を首都キガリで開催。2026 年 6 月に国家 AI 庁を設立。



（アフリカに関するグローバル AI サミットでスピーチを行うカガメ大統領。）

【女性の社会進出】

- ルワンダは、女性の社会進出が進んでおり、特に国会（下院）における女性の割合は63.8%で、世界1位となっている（日本は15.7%，世界141位）。
- これは、2003年の憲法改正により、国の全ての機関で少なくとも30%の人員を女性に割り当てることが定められたことが契機となっている。女性の政治進出が進んだことで、相続における男女平等や所有地の売却には夫婦双方の合意を必要とするなど、女性の権利を保障する法改正が行われている。

【ルワンダ・コーヒー】

- ルワンダでは、約 65%の世帯が農業に従事。主な輸出農産品はコーヒーと紅茶。特に、アラビカ種を中心とした高品質コーヒー（スペシャルティ・コーヒー）は国際市場で高く評価されている。
- JICA は、ルワンダのコーヒー産業振興のため、コーヒー専門家や海外協力隊員による各種支援を実施してきている。常時約 35～40 名の協力隊員が当地に派遣されており、うち 4～5 名がコーヒー関連の活動に従事している。また、JICA コーヒー専門家による支援の下、ルワンダで最高のコーヒーを決める Best of Rwanda コンテストが 2024 年から開始された。
- 日本のルワンダからのコーヒー輸入額は、2025 年は、約 4.2 億円。

【日本の地方自治体との交流】

- リンドウの生産日本一の岩手県八幡平市は、ルワンダで起業された日系企業と協力し、ルワンダでリンドウを生産し、ヨーロッパに輸出している。同事業は、2025 年に 10 周年目をむかえ、ルワンダは世界一のリンドウ海外生産拠点へと成長した。2025 年、JICA との協働事業により、八幡平市の先端の組織培養技術を導入する組織培養ラボを開設。リンドウの増産と種苗（鉢植え）のヨーロッパ向け輸出が目指されている。こうした縁から、八幡平市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック（2021 年実施）ではホストタウンとして、ルワンダ選手団の直前合宿などを受け入れた。



(ルワンダにあるリンドウ農園)

- 兵庫県神戸市は、キガリ市とのイノベーション及び ICT 分野におけるパートナーシップを通じて、同国からの留学生の受け入れや人材育成を通じた人的交流及び経済交流を行っている。特に、神戸情報学院大学は、ABE イニシアティブ研修生（2026 年 9 月現在総派遣数 70 名）のうち半数近くを受け入れた実績を持ち、結びつきが深い。

【服部正也『ルワンダ中央銀行総裁日記』】

- 日銀から IMF に出向していた服部正也氏は、1965 年、ルワンダ中央銀行総裁として派遣され、6 年間にわたり独立後間もないルワンダ中央銀行総裁を務め、ルワンダの経済財政政策の基盤作りに貢献した。その経験は、自著「ルワンダ中央銀行総裁日記」（中公新書）として残されている。
- 服部氏はその後日本人初の世銀副総裁に就任。1997 年のカガメ副大統領（当時）訪日時には表敬を行った。1999 年没（享年 81 歳）。

【食べ物】

- ルワンダでよく食べられているのものとして、ジャガイモを主とした芋類、豆類、トウモロコシ、キャッサバなどがある。
- 代表的な料理としては、ウガリ (Ugali) (キャッサバを湯でこねたもの)、マトケ (matoke) (焼きバナナ)、イソンベ (isombe) (キャッサバの葉となす・ほうれん草のペースト)、ブロシェット (牛や羊肉の串焼き) などがある。



(ティラピア、焼きバナナ、ウガリ等)

(了)